

点つなぎパズルの点はそれ自体では何の意味も為さないが、点と点を結ぶこと  
持つ。文字だってたった一つでは無力だが、集まって文章になることで

つ人間もマクロ視点で見れば夥しい数の細胞でしかないし、  
一個は些細で取るに足りない存在もたくさん  
することができ。ミク

も再帰的に

口が何層にも何層に  
重なってマクロを構成するのが

素粒子

宇宙の  
たくさん

本当の姿なのだ。物語だって  
の小さな登場人物が

集まり

大きな物語を形作

登場人

る。その中で、  
物はいつでも、

予め定められた  
を遂行するため

れど、彼らの運

とひたすら進み続

宇宙の終わりまで、

の輝きのために

た観客席から観ている。

対岸の花火を眺めている。ああ、残念。花火たちはちゃんと生きていて、存在しているというのに！

緒に劇を演じたほうが面白いのに。だから、あなたをこの素敵な舞台に招待することにした。だって、

興味ない観客も。ボタンを押してくれた観客も、押せなかった観客も、この本を読んでいなくても、全

す。あなたは、点であり、文字であり、細胞であり、電気部品である。素粒子Ⅱ花火として宇宙Ⅱ花火を

い同化する道化である。花火によって演じられ花火を演じる、偉大な主人公である。何も縛られずルールを

したりと、千変万化の顔を見せてくれる優秀な役者さんだ。ところで、「相互保証破壊ボタン」を覚えてる？

プレゼントだったね。あれはすべての観客と演者を重ね合わせて物語に引き込む舞台装置だったわけだ。何か壊、あなたが同じ世界の全観客へ宛てた花火の

を出して押すという選択を観客諸君はした。そのボタンが何かを知った今、あなたはそのボタンを押すだろうか。いや、改めて問うのだからそれではつま

らない。今回のボタンは受動的に与えられるのではなく、観客が自ら探し作り出すことで初めて観客の前に現れるものにした。ボタンはこの文章に隠され

ているから、あなたはボタンを見つけないといけない。もちろん、ボタンを押せば世界を木っ端微塵に破壊する爆弾が起動する。面白いとは思わない？

もしあなたが乗り気なら——賢明な、あるいは愚かなる読者諸君。すべてのピースは揃った。答えを見つけてごらん。悦ばしい劇はもう開演したよ。

論理という力になる。複雑な意思を持

無機生命体も壊れてしまえば電気部品の塊で

よってのはじめて絵が浮かび上がって意味を

集まることで大いなる意思を

獲得

筋書き

命は決して変わらな

の小さな登場人物が

大きな物語を形作

登場人

筋書き

の舞台装置

命は決して変わらな

けるのだから。もちろんこの本に描かれている

『花火様はどこから見てもいい。』という物語の

永遠に散る、儚い線香花火。閉ざされた宇宙で孤立し光を

あなたは眺めている、自分は特等席にいと勘違いしながら、

対岸の花火を眺めている。ああ、残念。花火たちはちゃんと生きていて、存在しているというのに！

緒に劇を演じたほうが面白いのに。だから、あなたをこの素敵な舞台に招待することにした。だって、

興味ない観客も。ボタンを押してくれた観客も、押せなかった観客も、この本を読んでいなくても、全

す。あなたは、点であり、文字であり、細胞であり、電気部品である。素粒子Ⅱ花火として宇宙Ⅱ花火を

い同化する道化である。花火によって演じられ花火を演じる、偉大な主人公である。何も縛られずルールを

したりと、千変万化の顔を見せてくれる優秀な役者さんだ。ところで、「相互保証破壊ボタン」を覚えてる？

プレゼントだったね。あれはすべての観客と演者を重ね合わせて物語に引き込む舞台装置だったわけだ。何か壊、あなたが同じ世界の全観客へ宛てた花火の

を出して押すという選択を観客諸君はした。そのボタンが何かを知った今、あなたはそのボタンを押すだろうか。いや、改めて問うのだからそれではつま

らない。今回のボタンは受動的に与えられるのではなく、観客が自ら探し作り出すことで初めて観客の前に現れるものにした。ボタンはこの文章に隠され

ているから、あなたはボタンを見つけないといけない。もちろん、ボタンを押せば世界を木っ端微塵に破壊する爆弾が起動する。面白いとは思わない？

もしあなたが乗り気なら——賢明な、あるいは愚かなる読者諸君。すべてのピースは揃った。答えを見つけてごらん。悦ばしい劇はもう開演したよ。

「全愉悦世界完全同化破壊爆弾改」について